

講義名	スポーツ組織論			
担当教員	山口 泰雄			
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要

わが国では、2019年ラグビーワールドカップ、2021年TOKYOオリンピック・パラリンピック競技大会、2022年ワールド・マスターズゲームズ関西 in JAPANのメガスポーツイベントが連続するゴールデン・スポーツイヤーを迎えている。このような社会情勢のなか、スポーツの社会効果、経済効果、個人効果など、スポーツの持ち力が再評価されている。またスポーツ組織が多様化し、スポーツ組織のガバナンスや透明性が社会課題として問われている。

本講では、スポーツの行政組織と国内のスポーツ統括組織および民間非営利組織、民間営利組織の組織構造とその事業・活動の基礎知識を習得し、スポーツ組織のマネジメントに関する理解を深める。また、ワールドマスターズゲームズ関西 in JAPANやこうべスポーツ産業懇話会（SINK）の組織構造と事業・活動を解説する。さらに、海外の主要スポーツ先進国（カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、英国、ドイツ、オランダ等）におけるスポーツ担当部門の組織構造と事業・活動を学ぶことによって、グローバルな視野を身につける。

到達目標

本講の到達目標は、以下のとおりである。

- 1) スポーツの行政組織、国内統括団体、民間非営利団体、民間営利団体の組織構造と事業・活動に関する知識を身に付けるようになる。
- 2) スポーツ組織の構造と機能に関する理解ができるようになる。
- 3) 海外主要スポーツ先進国におけるスポーツ組織の構造と機能に関する理解を深め、グローバルな視野を身に付けるようになる。

提出課題

授業のかわりに、その日のポイント、動画の感想等をレスポンスにより、提出する。また、中間テストと期末テストをレスポンスにより、実施する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

毎回の授業において、前回授業の振り返りを行う。その際、提出されたレスポンスの内容に関する講評を行う。

評価の基準

中間テスト（30%）、期末テスト（30%）、出席・授業態度・質問等（40%）。

履修にあたっての注意・助言他

遅刻者は、開始後15分以内とし、静かに着席すること。講義中の質問は加点する。授業中の私語は厳禁で、使用を指示しない限り、スマホ使用を禁止とする。

教科書	.使用しない。 .			

プリント資料及び参考文献

プリント資料は必要に応じて配布する。
参考文献は、「スポーツ白書2020」（菅川スポーツ財団）、「スポーツ・ボランティアへの招待-新しいスポーツ文化の可能性-」（山口泰雄編著、世界思想社）。

授業計画

1. オリエンテーション、スポーツ組織とは？
2. スポーツの行政組織（スポーツ庁）とその政策
3. スポーツの行政組織（スポーツ庁）とその政策
4. 地方自治体のスポーツ組織とその事業（神戸市）
5. 国内のスポーツ統括組織とその事業（日本スポーツ振興センター、toto）
6. 国内のスポーツ統括組織とその事業（Jspo, JOC, JPC）
7. 民間非営利スポーツ団体とその活動（地域SC、総合型地域SC）
8. KR&C、中間テスト
9. 民間非営利スポーツ団体（神戸スポーツ産業懇話会）
10. 国内スポーツ営利法人
11. 国内スポーツ営利法人
12. カナダ、オーストラリア、ニュージーランドのスポーツ組織
13. 英国、ドイツのスポーツ組織
14. オランダのスポーツ組織
15. 振り返り、まとめ、期末テスト

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：28時間
自習のシラバスを確認し、参考文献、「ネット等でその内容を事前に把握する。」
復習：28時間
授業における配布資料に再度目を通り、学んだことの振り返りを行う。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業を通して、子どもから高齢者までの広範囲にわたる健康分野に関する基礎知識を身につけ、健康・スポーツ関連産業の理解を深めることができることから、本学料のディプロマポリシーの達成に大きく貢献できる科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

考える授業を導入し、授業中に質問し、解答したことを加点する。また、レスポンスの内容を吟味し、質問や疑問に対して、回答するようにする。

実務経験の有無及び活用

市民マラソンの運営、質問紙調査の実施と分析、ジュニアスポーツリーダー講習会・高齢者スポーツイベントの運営など。

備考